



※発表者が複数の場合も1名(団長、会員)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

2021年 3月27日(土)	
9:45	受付開始
10:00-10:10	聴講方法の説明(実行委員会)
10:10-10:20	開会の辞
クルディスタンの調査	
10:20-10:45	報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査(2019・2020)— 筑波大学名誉教授 常木 晃
10:45-11:10	報告② 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャフリゾール平原の先史遺跡調査(2019-20年)— 金沢大学国際文化資源学研究所センター特任准教授 小高 敬寛
11:10-11:35	報告③ アッシリア帝国東部辺境を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テペ考古学プロジェクト:2020年度の進展— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一
レヴァントの調査	
11:35-12:00	報告④ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(近年の動向)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二
12:00-12:55 昼食休憩 (55分)	
12:55-13:00 聴講方法の説明(実行委員会) (5分)	
13:00-13:25	報告⑤ ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —四半世紀の調査を振り返って— 金沢大学特任教授 藤井 純夫
13:25-13:50	報告⑥ イスラエル国、テル・レヘシュの「下の町」 —第12次調査(2019年)を中心に— 天理大学文学部准教授 橋本 英将
13:50-14:15	報告⑦ レヴァント回廊の歴史を探る —第6次(2020年)・フェニキアの港バトルーン遺跡の発掘調査— 中部大学人文学部准教授 西山 伸一
14:15-14:40	報告⑧ ウム・カイスにおけるローマ帝国からビザンツ帝国への移行(その2)— 国士舘大学ヨルダン、ウム・カイス遺跡調査— 国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員 松本 健
14:40-15:00 休憩(20分)	
コーカサス、アナトリアの調査	
15:00-15:25	報告⑨ 南コーカサス地方の新石器時代 —アゼルバイジャン発掘調査(2008-2019年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏
15:25-15:50	報告⑩ 初期待住集落の姿を探る —トルコ、ハッサンケイフ・ホユックにおける発掘調査— 筑波大学人文社会系教授 三宅 裕
15:50-16:15	報告⑪ 中央アナトリアにおける銅器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡北・西トレンチ発掘調査(2020年)— ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一
中央アジアの調査 (1)	
16:15-16:40	報告⑫ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2013-2019年)— 東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏
16:40-17:05	報告⑬ 中央アジア初期農耕牧畜民の交流から東西交渉の始まりを探る —キルギス、モル・ブラク1遺跡(第1~3次)、ウズベキスタン、ダルヴェルジン遺跡(第1~2次)の発掘調査(2016-2019年)— 東京芸術大学特任講師 久米 正吾
17:05	1日目終了

2021年 3月28日(日)	
9:45	受付開始
10:00-10:05	聴講方法の説明(実行委員会)
中央アジアの調査 (2)	
10:05-10:30	報告⑭ シルクロード天山北路の形成と展開 —キルギス共和国、チューン渓谷西部の考古学踏査(2018・2019年)— 奈良文化財研究所研究員 山藤 正敏
10:30-10:55	報告⑮ アムダリヤ流域におけるクシャン期仏教遺跡の探査 —ウズベキスタン共和国テルメズ市南部のズルマラ仏塔の調査— 立正大学特任講師 紺野 英二
10:55-11:20	報告⑯ ウズベキスタン共和国カフィル・カラ遺跡発掘調査 2020年度までの成果—出土遺物に見るカフィル・カラの文化交流— 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員 村上 智見
アラビア半島の調査	
11:20-11:45	報告⑰ ディルムンを掘る —バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2020— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史
11:45-12:55 昼食休憩 (70分)	
12:55-13:00 聴講方法の説明(実行委員会) (5分)	
13:00-13:25	報告⑱ バハレーン、ティロス期の古墳の調査 —バハレーン、マカバ古墳群の発掘調査2016-2020— 奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀
13:25-13:50	報告⑲ ディバ砦の発掘2020 —シャルジャ酋長国, UAE— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫
13:50-14:15	報告⑳ サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査 (2020)—中世の港町の構造を探る— 早稲田大学・東日本国際大学客員教授 長谷川 奏
エジプトの調査	
14:15-14:40	報告㉑ 先王朝時代の儀礼祭祀の痕跡か? —エジプト、ヒエラコンポリス遺跡の発掘調査(2020年)— 早稲田大学エジプト学研究所客員研究員 馬場 匡浩
14:40-15:00 休憩(20分)	
15:00-15:25	報告㉒ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第27次調査(2020)— 東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健
15:25-15:50	報告㉓ 前1千年紀の集落址と採石場址 —エジプト・アコリス遺跡の調査2019— 東京都立大学客員研究員 花坂 哲
15:50-16:15	報告㉔ ネクロポリス・テーベ研究 —エジプト、ルクソール西岸アル=コーカ地区、第13次調査— 早稲田大学文学学術院・早稲田大学エジプト学研究所教授 近藤 二郎
16:15-16:40	報告㉕ エジプト、北サッカラ遺跡の未知の墓地を掘る —ローマ支配期のカタコンベの意義および今後の調査の展望— 金沢大学・新学術創成研究機構教授 河合 望
16:40-16:45	閉会の辞
16:45	閉会

お使いの回線・機器の状況によっては、視聴中に通信状況が不安定になったり、映像等の不具合が起こったりすることもあります。安定したインターネット環境で視聴することをおすすめいたします。  
接続アクセスに関するサポートはできません。あらかじめご了解くださいますようお願い申し上げます。